

プログラム

特別講演

特別講演

2021年 1月 15日 12:50 ~ 13:50

座長：北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）

『外来性化学物質（xenobiotics）により誘発される生体反応の分子機構解析と創薬加速』

演者：菅野 純（日本毒性学会理事長）

教育講演

教育講演

2021年 1月 14日 13:20 ~ 14:20

座長：山田 久陽（大正製薬株式会社）

『医薬品安全性評価における毒作用発現機序解明の役割とその意義』

演者：堀井 郁夫（ファイザー）

シンポジウム

シンポジウム 1

2021年 1月 14日 9:50 ~ 12:20

『医薬品開発と機序研究』

座長： 森 和彦（第一三共株式会社 安全性研究所）

武藤 重治（田辺三菱製薬株式会社 安全性研究所）

- S1 - 1: ラット毒性試験でみられた肺毒性の機序検討及び軽減の試み
○佐山 絢子、藤本 和則、甲斐 清徳、森 和彦（第一三共株式会社 安全性研究所）
- S1 - 2: 遺伝毒性誘発メカニズムに基づくリスク評価
○武藤 重治（田辺三菱製薬株式会社 安全性研究所）
- S1 - 3: 最適化段階における胚・胎児発生毒性に関する機序研究の事例
○伊佐治 優希¹、金崎 聡一郎¹、南 圭一²、川本 吏記¹、吹田 直政²、片木 淳¹、栗林 正伯¹
（小野薬品工業株式会社 ¹安全性研究部 ²創薬基盤研究部）
- S1 - 4: 医薬品による肝障害発症機序再考
○横井 毅（名古屋大学大学院医学系研究科）
- S1 - 5: 医薬品による重症薬疹、間質性肺炎の発症機序
○斎藤 嘉朗、今任 拓也、塚越 絵里、荒川 憲昭、中村 亮介
（国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部）

シンポジウム 2

2021年 1月 14日 15:00 ~ 17:00

『動態を考慮した毒性機序研究・毒性機序から考える代謝研究』

座長： 中島 美紀（金沢大学）

吉成 浩一（静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野）

- S2 - 1: ヒト肝臓における反応性代謝物キノニン体の生成を制御するメカニズム
○深見 達基^{1,2}
（¹金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬物代謝安全性学研究室、²金沢大学ナノ生命科学研究所）
- S2 - 2: 代謝物を考慮したミトコンドリア毒性評価法の構築
○竹村 晃典、伊藤 晃成（千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室）
- S2 - 3: トランスポーター介在性DIKIの検出を目指した*in vitro*評価系の構築
○荒川 大、玉井 郁巳（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
- S2 - 4: PXR活性化の肝化学発がんへの影響の理解と機序解明
○志津 怜太、吉成 浩一（静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野）

『毒性機序研究に貢献する最新技術』

座長：福井 英夫 (Axcelead Drug Discovery Partners株式会社)

宮脇 出 (大日本住友製薬株式会社)

- S3 - 1：ホルマリン固定パラフィン包埋組織検体を用いたプロテオミクス解析の毒性機序解明への応用
○安藤 智広 (Axcelead Drug Discovery Partners株式会社、統合トランスレーショナル研究)
- S3 - 2：IMS(イメージングMS) の創薬への応用
○渡辺 健一、只野 純、吉沢 佑基、福田 幸祐、栃谷 智秋、山田 統一郎、高山 早代、
中川 徹也、宮脇 出
(大日本住友製薬株式会社 前臨床研究ユニット)
- S3 - 3：バイオ3Dプリンタで作製したヒト肝臓モデルの特性と薬物毒性評価への応用
○前川 敏彦、鍛冶山 咲良、井上 愛優 (株式会社サイフューズ 研究開発部)
- S3 - 4：HLA遺伝子導入マウスを用いた特異体質毒性発症の機序解析
○伊藤 晃成、青木 重樹 (千葉大学大学院薬学研究院)
-

『医薬品以外の毒性研究から学ぶ』

座長：鍛冶 利幸 (東京理科大学)

務台 衛 (株式会社LSIM安全科学研究所)

- S4 - 1：ナノマテリアルの毒性制御に向けた基礎的知見
○小野田 淳人^{1,2}
(¹山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部、²名古屋大学大学院 医学系研究科 小児科学)
- S4 - 2：有機-無機ハイブリッド分子の毒性発現と構造活性相関
○原 崇人 (東邦大学薬学部 衛生化学教室)
- S4 - 3：急性毒性試験の近代化による毒性機序研究
○高橋 祐次¹、森田 紘一¹、辻 昌貴¹、菅 康佑¹、相崎 健一¹、大久保 佑亮¹、種村 健太郎²、
北嶋 聡¹ (¹国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部、
²東北大学大学院農学研究科 動物生殖科学分野)
- S4 - 4：腎障害の慢性化メカニズムに関する研究：安全性評価への応用を目指して
○松下 幸平 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)
-

企業シンポジウム

企業シンポジウム 1

2021年 1月 14日

14：20～14：50

Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

『創薬初期ステージにおける遺伝毒性評価の重要性

～最新の遺伝毒性スクリーニング試験のご紹介～』

○ 吉田 唯真、松本 朱美、原田 裕美子、高砂 浄

(Axcelead Drug Discovery Partners株式会社

統合トランスレーショナル研究 Discovery DMPK and Toxicology)

企業シンポジウム 2

2021年 1月 15日

11：20～11：50

Mimetas Japan 株式会社

『組織培養チップOrganoPlate®を使った疾患・毒性研究』

○ 江尻 洋子 (Mimetas Japan 株式会社)

企業シンポジウム 3

2021年 1月 15日

14：00～14：30

株式会社フェニックスバイオ

『ヒト肝細胞キメラマウスを通じて考えるー生命維持と毒性機序ー』

○ 加国 雅和^{1,2} (1株式会社フェニックスバイオ、2KMT Hepatech, Inc.)

ポスター発表プログラム

*若手優秀発表賞応募演題

- P-1* : エタノールの発達期曝露によるラットの出生後の海馬歯状回における可逆的な神経新生障害と、成熟後における遅発影響としての新生顆粒細胞のシナプス可塑性の低下
○高橋 康德^{1,2}、山下 理紗子¹、菊地 聡美^{1,2}、岡野 拡^{1,2}、高嶋 和巳^{1,2}、尾城 椋太^{1,2}、唐 倩^{1,2}、吉田 敏則^{1,2}、渋谷 淳^{1,2}
(¹東京農工大・獣医病理学研究室、²東京農工大・院・共同獣医学専攻)
- P-2* : Lipopolysaccharide誘発発達期神経炎症モデルにおける海馬神経新生への影響及び α -Glycosyl isoquercitrinの保護効果
○岡野 拡^{1,2}、高嶋 和巳^{1,2}、高橋 康德^{1,2}、尾城 椋太^{1,2}、唐 倩^{1,2}、菊地 聡美^{1,2}、小柳 美穂子³、吉田 敏則^{1,2}、渋谷 淳^{1,2}
(¹東京農工大・獣医病理学研究室、²東京農工大・院・共同獣医学専攻、³三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)
- P-3 : ラットに対するバルプロ酸の胎生期投与による海馬神経新生障害性の検討と、それに対する α -glycosyl isoquercitrinの保護効果
○高嶋 和巳^{1,2}、菊地 聡美^{1,2}、岡野 拡^{1,2}、高橋 康德^{1,2}、尾城 椋太^{1,2}、山下 理紗子¹、唐 倩^{1,2}、小柳 美穂子³、吉田 敏則^{1,2}、渋谷 淳^{1,2}
(¹東京農工大・獣医病理学研究室、²東京農工大・院・共同獣医学専攻、³三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)
- P-4* : イヌで認められた薬剤誘発性の水晶体混濁と水晶体皮質へのコレステロール類縁物質の蓄積
○岩崎 紘¹、神尾 恭平¹、桐畑 佑香¹、西本 朋弘¹、木下 幸之助¹、中西 豊¹、佐々木 稔²、若松 正樹¹
(大正製薬株式会社 ¹安全性・動態研究所 ²シニアスペシャリスト室)
- P-5 : アルケニルベンゼン化合物イソオイゲノールのマウス肝発がん機序に関する研究
○石井 雄二、中村 賢志、並木 萌香、高須 伸二、小川 久美子
(国立医薬品食品衛生研究所 病理部)

P-6 : びまん型胃がん及び腸型胃がんにおける上皮間葉転換に関連した細胞周期チェックポイント制御及びBRCA1の役割について

○田邊 思帆里¹、Quader Sabina²、小野 竜一³、Cabral Horacio⁴、青柳 一彦⁵、広瀬 明彦¹、横崎 宏⁶、佐々木 博己⁷

¹国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部、

²公益財団法人 川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター、

³国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部、

⁴東京大学大学院 工学系研究科、

⁵国立がん研究センター 基盤的臨床開発研究コアセンター 臨床ゲノム解析部門、

⁶神戸大学大学院 医学研究科、

⁷国立がん研究センター 基盤的臨床開発研究コアセンター 創薬標的シーズ探索部門)